

本庄町の皆様には、日頃より本会の活動に、格別のご理解とご協力を頂きありがとうございます。今年もコロナ禍のために、種々の行事が中止となり、とても残念に思っています。先般、百歳以上の人数が発表され、佐賀県では七百九十五人（うち女性七百八）と。昭和五十年に初めて佐賀県に百歳になられた方が二名誕生したのですが、ほぼ半世紀で四百倍近くに増えました。驚くばかりです。

日本は、世界の長寿国になり、先進国では最も速いスピードで高齢社会を迎えたと紹介されています。勿論、本庄町も例外ではありません。二十三自治会のう

ち半分以上が高齢化率三十%を超えています。（佐賀市約二十八パーセント）

私たちは今、高齢者の方々が、住み慣れた地域でいつまでも元気で楽しく過ごしていただけるように、見守りや声かけあるいはチョコットボランティア（ゴミ出しなど）を行っています。また、フレイル（虚弱）状態にならないように、身近な所に「ふれあいサロン」や「元気アップ体操教室」を開設し、いつまでも健康で生き生きと過ごされるよう頑張っているところです。

この二、三年で「サロン」や「元気アップ教室」の必要性など理解が深まり少しずつ増えてまいりましたが、残念

ながらまだまだと思っ

特に、大きな自治会の袋地区や西寺小路地区には、一日でも早くオープンできたらと思っ

自治会長さんや民生委員さん、福祉協力員さんのお力をお借りしながら、是非作っていただきたい、作りましよう！とお願いあるのみです。どうぞ、よろしくお願

秋深し 難題多い 高齢化

今年度、総務という大役に任命された腹巻です。

平成二十八年十二月から、満穴・中島地区担当の民生委員・児童委員を一期務め、任期最後の年は中島自治会長を九か月間兼務しました。本庄町自治会長会の副会長になつたこと等で、異例の抜擢

となつたようですが、外部の者として本庄社協とは異なる行事等を経験してはいるものの、内部ましてや総務という職務は、勝手がわからず皆様にはご迷惑をおかけするばかりだと思ひます。申し訳ありません。

本庄社協のことをしっかりと学習し、自立できるような努力したいと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願

私には、面白いジंकクスがあります。それは「晴れ男」です。私がこれまで関わってきた行事の九割は「雨天中止」がありません。ここで発表してしまつたので、効力が失われるかもしれません。今のところ、第一回福祉協力員会議と赤い羽根共同募金法人募金活動、理事研修会は天気



総務 腹巻 孝司 会長 相場 信博 会計 深川 治利

共に支え合う 地域福祉のまちづくり
社会福祉協議会会長 相場 信博

本庄校区
社会福祉協議会
だより

発行
本庄校区
社会福祉協議会
〒840-0027
佐賀市本庄町大字本庄
279番地8(本庄公民館内)
TEL・FAX
0952(23)2691



会計 深川 治利
4月から会計担当になりました。深川です。正里在住です。

公務員を退職して約10年、自由気ままに趣味のクラシック音楽鑑賞・国内や海外への旅行等で過ごして来ました。

特にマイカーを簡易改造したキャンピングカーでの日本一周3か月のドライブは全国津々浦々本当に感銘深いものでした。

古希を迎え、少しは地域社会貢献を始めようと思つたところ、声を掛けて頂きました。

最初の研修で、社協の仕事は「地域の幸せづくり」と習いました。

地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願

「各町区の福祉協力員さんのご紹介」

福祉協力員さんは、民生・児童委員さんと、共に高齢者の方々の見守りやご相談などにお応えさせていただきます。お気軽に声をおかけください。

地区名	福祉協力員氏名	地区名	福祉協力員氏名	地区名	福祉協力員氏名
西川内	江口 富美子	大 崎	松本 朋子	鹿子上	御厨 義幸
溝 口	中山 立男	袋	井手 一男	〃	田中 隆
高 柳	仁部 文秋	〃	野口 秀雄	鹿子下	原田 善二
西寺小路	森 良子	〃	糸山 敏博	上飯盛	野田 和広
〃	鳥越 常子	〃	福田 均	正 里	深川 治利
東寺小路	三浦 祥助	〃	野村 通泰	鹿子団地	吉田 隆行
〃	小川 一吉	八 田	富崎 敏之	県職AP	佐藤 義則
佐大前	南里 浩子	末 次	相場 信博	緑ヶ丘	矢ヶ部 悟
〃	山田 末敏	〃	永石 陽子	本庄団地	山田 正隆
大井樋	庄野 なほみ	中 島	副島 晴登	正里団地	川崎 健三
城 南	吉原 沙希	〃	腹巻 孝司		
大 崎	志水美枝子	満 穴	鬼崎陽一郎		

編集後記

本庄社協についてほとんど分からないままに、総務の仕事をしていました。やることなすこと後手後手で、ちぐはぐな対応も多かったことと思います。申し訳ありません。皆様方の温かいご指導の下、少しずつ軌道に乗ってきたように思います。

ご協力ありがとうございます。コロナの影響で、「はがくれの里祭り」や「ふれあいの集い」が実施できなかったのが残念でしたが、感染者数も減り、経口薬の開発も進んでいるようで、少しずつ明るい兆しが見えてきたように思えます。来年度は、すべての行事が実施できるよう願っています。

記 腹巻 孝司

御寄付(香典返し)御礼

- 川崎 実様【故 川崎ミツエ様】(末次)
- 江口 智徳様【故 江口 龍堂様】(鹿子上)
- 竹下 敬教様【故 竹下アサ子様】(大井樋)
- 鶴田テル子様【故 鶴田 忠様】(大井樋)

右記の方から、追善供養としてご寄付をいただきました。ありがとうございます。ご冥福をお祈り申し上げますとともに、校区の福祉向上のため、役立たせていただきます。

◎御寄付の連絡先
本庄校区社会福祉協議会(本庄公民館内)
電話 0952(23)2691

子育てサークル ままごっくん

ベビー代表 田中 歩美
キッズ代表 野口 優香

子育ては一人でするとしんどいこともあります。でも同じ悩みを持つママ・先輩ママとそのしんどさを共感できたら心が軽くなり子育てがぐんと楽しくもなります。

ままごっくんは赤ちゃんから幼稚園・子ども園などに入園までの子どもとその保護者が、月に1〜2回集まり、様々な活動を通して保護者どうしの仲間づくりと子どもたちの遊び場づくりをしています。

子どもと一緒に楽しく少しでもリフレッシュしてほしいという想いで、先輩ママたちから受け継がれ、20年目になります。

私たちの活動は公民館・社会福祉協議会・ゆめぼけっと・先輩ママなど地域の皆様に支えられ、とても充実した活動をする事ができています。

この場をお借りして 御礼申し上げます。

8月上旬に開催された「夏まつり」は、コロナ感染拡大しつつある時でした。中止も頭をよぎりましたが、公民館・先輩ママ・スタッフの力とアイデアを頂き、規模縮小・時間短縮・2部制・距離など工夫をすることで子どもたちに楽しい思い出を作ることができました。「金魚&ヨーヨーすくい」「おも

ちゃ釣り」に大興奮でした。まだまだ先が見えない状況ですが、こんな時だからこそ感染対策をしつつ、親子が楽しく参加できるように、みんなで協力していけたらと思っています。

〔今後の活動〕

クリスマス会・ふたばこども園の先生と遊ぼう・佐賀市営バスに乗りよう など

*「ベビー」第2 木曜

*「キッズ」第1・3木曜

どちらも10時半〜11時半

*参加費 各回50円

年度途中からの参加、妊婦さんもOK。興味のある方は本庄公民館へお問い合わせください。

0952・23・2691



本庄子ども茶道教室

代表 吉丸 京子

本庄子ども茶道教室は裏千家茶道で、小学生・中学生を対象に6月から三月まで、毎月第二土曜日に行っています。

本庄小学校に四月に募集の案内を持参し、校長先生より各学年にお願いをしていただいています。毎年二十名ぐらゐの応募者があり、一年生から始めて六年間続けている子どももいます。

中学生になってお手伝いに来てくれる子どももいるのは、嬉しいことです。

公民館の文化祭・佐賀城本丸の「佐賀市伝統文化お茶&お琴親子教室」発表会そして初釜式でのお点前を目指して毎月熱心にお稽古をしています。

初釜式では小学校の先生方をお招きします。一生懸命にお点前する姿や、点てたお茶を先生や保護者に運ぶ様子は、学校では見られない姿だとびっくりされていました。この時は子どもたちが先生で、「こうして飲むんですよ」と保護者や先生に教えています。

茶道は日本の伝統文化というだけでなく、日常生活での相手への思いやり・気配りや、おもてなし



の心を学ぶ場でもあります。和室での歩き方やお辞儀には三通りあること、お箸の使い方、茶碗の持ち方などを最初に学びます。床の間のお軸の拝見の仕方を「私も私も」と熱心に稽古する姿を見て、私たち指導者も嬉しく思いました。

一時期茶道が出来なくても、大人になってまた始めてくれればと願うと共に、私達も茶道の良さを伝えることができる指導者でありたいと思います。

赤い羽根共同募金 法人募金活動

赤い羽根共同募金法人募金活動が、十月十三日（水）に民生委員児童委員、福祉協力員の方々と合同で行われました。数日前の天気予報を覆す晴天に恵まれ順調に募金活動ができました。

五か所の集会所からそれぞれの担当地区に分かれ、民生委員児童委員の先導で各法人様をまわりました。集会所によっては、集合時間の変更があり、総務へその情報が伝わっていないので、若干の混乱があり参加した方へ迷惑がかったことがありました。次年度への課題として、改善したいと思っています。

福祉協力員は17名の参加、募金総額は173,532円でした。コロナ不況で昨年度より若干金額の減少でしたが、新規の募金があったのは幸いです。

募金に協力いただいた法人の方々、活動に参加された民生委員児童委員、福祉協力員の皆様、本当にありがとうございました。

(文責 腹巻)



理事研修会

一年おきに開催されている理事研修会を、十月二十二日（金）に行いました。コロナの問題もあり、今回は佐賀市で実施できるよう計画しました。

ほほえみ館会議室で、佐賀市社会福祉協議会の池田事務局次長に「成年後見制度」の講話をしていただきました。「成年後見制度」とは、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方について、ご本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、法的に支援する制度です。法廷後見制度では、補助、保佐、後見の種類があり、家庭裁判所が後見人を（代理人）等を選任します。

市の社会福祉協議会ではほかに「あんしんサポート」というサービスがあり、お困りの方にはとても便利なサービスだと思いました。詳しくは、佐賀市または本庄校区社会福祉協議会へお問い合わせください。

午後からは、佐賀駅前のコムボックスの視察をしました。佐賀市の観光案内や土産物もあり、他県から来られた方へ案内すると良いのではないかと思います。

(文責 腹巻)



本庄校区

社会福祉協議会 だより

発行
本庄校区
社会福祉協議会

〒840-0027
佐賀市本庄町大字本庄
279番地8(本庄公民館内)
TEL・FAX
0952(23)2691



互いに助け合う支え合うまちづくりを！

社会福祉協議会 会長 相場 信博

今、ひとり暮らしの世帯が増えています

先ごろ発表された国勢調査の結果によると全世帯の約40パーセント(2115万1042世帯)が一人暮らし世帯で、このうち約672万世帯が65歳以上で、ひとり暮らしの3軒に1軒は高齢者という事です。

勿論、我が本庄町でも例外ではありません(ひとり暮らしの高齢者約500人です)

そのため私たちは、高齢者の方々が住み慣れた地域でいつまでも元気で自分らしく楽しく過ごしていただくために、見守り、声かけやゴミ出しなどのチョコツトボランティアを行っています

ます。

そのような中、昨年暮れの30日に悲劇が起きました。

それは、ある町区のA班(17世帯の班で50年前から班独自で「互助会制度」を設けられ冠婚葬祭の御祝、香典のみならず新年会や日帰り旅行などを行い、日頃からこの班より気軽に近所付き合いがあり、しっかりした絆づくりが出来ていると思っていました)で、近所の方がお好み焼きを作ったのでKさんの所へもっていったところ、玄関の呼び鈴を押しても押しても応答がなく「何か様子がおかしいのですぐ来てください」と、取るものも取り敢えず駆けつけ、呼び鈴を

押し大きな声で何度も呼びかけるけれど応答なし。家の周りをぐるりと回りながら、どこかあけることが出来ないかと点検していたら一か所窓があきました。

何度もKさんに呼びかけましたが、テレビの音が聞こえるだけで全く反応がありません。

これは「異常だ」と思い、直ぐに警察、救急車、民生委員に異常を伝え至急来てくださいと要請しました。

本当のところ、開いた所から家の中へ入りたいと思いましたが、かねてから「事件性があるかもしれないので、まず警察に知らせてください」と警察に言われていたので思いとどまり、大声で呼びかけを続けておりました。

やがて、パトカーや救急車が来て調査が始まり、もの凄い大声で呼びかけてお

られるので、これは大変だと直感しました。

想像に反し、半年ほど前に戻ってこられた病弱の長男の方が亡くなられ、86歳のお母さんが悲嘆にくれ、話もできない程衰弱しておられるとのことでした。

直ぐに教えていただいていた連絡先の東京、名古屋に連絡しました。

近くには誰もおられないので、年老いたお母さんやどうするか、通院されていた「なゆたの森病院」にお願いし、自分の間預かっていただくことにしました。全く話もできない状態でしたので大変心配だっただけに、有り難く感謝感謝でした。

しかしながら、新年の15日に老衰のため亡くなられたと連絡がありさすがにがつくり。何処よりも地域の絆が出来ていると思っていただけに、何もできな

かったことは大きなショックでした。心からご冥福をお祈りします。コロナ禍で対面での見守りが出来なかったとはいえ残念でなりません。

民生委員さんにも寒風の中長時間警察の事情聴取にテキパキと対応していただき助かりました。

高齢者の皆さんにお願いです。「苦しい時や困った時」には、躊躇せず「声を上げて助けを求めてください」

自治会長さんも民生委員さんも福祉協力員さんどうぞこれまで以上に地域に目配り、気配りをお願いいたします。

そして高齢者の皆さんがサロンや元氣アップ体操などに積極的に参加され「フレイル(虚弱)」予防に努め、地域の方々と触れ合いながら自分らしくいつまでも元気で楽しく過ごしていただきたいと思っております。

私たちも今まで以上にお互いに支え合う助け合う地域福祉のまちづくり「住みたい町本庄、住みやすい町本庄」のまちづくりに努力していきたいと思っております。皆さん一緒に頑張りましょう。



佐賀市社協担当者紹介

今年度より本庄校区担当になりました、佐賀市社会福祉協議会の中島眞由子・中島雅博・吉武靖信です。

私たちは、本庄にお住いの子どもから高齢者まで、様々な年代の方や障がいをお持ちの方に関わり、地域の方や関係機関などと協力しながら、一緒にお困りごとの解決に向けてお手伝いさせていただきます。

みなさまの地域の中で、お困りごとや気になるご家庭等ありましたら、お気軽に私たちに相談ください。本庄校区の地域力、福

活動報告より

福祉協力員の方々に、活動報告を九、十二、三月の三回提出いただいたいます。

コロナ禍で、以前のような密接な交流がしがたい状況にもかかわらず、それぞれ工夫と努力をされていることに感謝いたします。いくつかの事例を、匿名の表記で紹介いたします。

社力の向上のために、みなさんと一緒に頑張らせていただきます。よろしくお願いたします。

【南部エリア担当】



中島眞由子



中島 雅博



吉武 靖信

事例1 Aさん。街灯の件を兼ねて声掛け、車も運転され極めてお元気でした。Kさん。ご本人は就寝中で、娘さんと会話しました。Nさん。声掛け。極めてお元気。三回目のワクチン接種でした。

事例2 定期的にジョギング時、一人暮らしの高齢者の方への見守りをした。

福祉功労者表彰

本庄校区社協の相場会長が、佐賀市社協の福祉功労表彰をされました。

平成23年4月～平成28年3月まで校区社協副会長、平成28年4月から今日まで会長として通算10年余の永きにわたり地域福祉の向上、とりわけ高齢者福祉の向上に努められた功績。特に、子どもと高齢者の交流の場づくり（小学校と地域合同防災訓練、しめ縄づくり、さんどカフェなど）に努められ、自助・互助・共

事例3 独居・高齢者のみ世帯、家の外で見かけた時は、声掛けを行う。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、挨拶又は玄関先等外からの目視確認。

事例4 七名の方とお会いし、元気な様子で安心した。ご主人を亡くされ、体の調子が悪いという事で、家に行きお話を聞きました。

助の必要性を説明され、共に支え合う助け合う地域福祉のまちづくりに尽力された功績を讃えるものです。(文責 腹巻)



この他、自治会長や民生委員と合同で見守りをしている町区、班長が見守りしている町区がありしました。また、独居・高齢者のみ世帯を表にして、情報を管理されている方もおられました。ご協力ありがとうございました。(文責 腹巻)



ご寄付(香典返しのお礼)

- 萩尾 明様
【故萩尾マサヨ様】(溝口)
坂井 京子様
【故坂井 邦夫様】(大井樋)

右記の方から、追善供養としてご寄付をいただきました。ありがとうございます。ご冥福をお祈り申し上げますとともに、校区の福祉向上のため、役立たせていただきます。

◎ご寄付の連絡先
本庄校区社会福祉協議会
(本庄公民館内)
電話 0952(23)2691

編集後記

令和三年度が終わろうとしています。今年度も、新型コロナウイルスの影響で多くの行事を中止せざるを得ませんでした。特に「ふれあいの集い」と「さんどカフェ」ができなかつたことがとても残念です。第六波の後の変異株がとても心配ですが、三回目接種と経口薬開発が進むことで、来年度こそ多くの行事が実施できることを願っています。(記 腹巻)